

【様式】

平成31年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 伊勢工業高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		・ 地元企業の人材育成を軸に、一人ひとりが望む進路の完全保障を実現する工業高校
(2)	育みたい 児童生徒像	○ 基本的な生活習慣を身につけ、社会常識のある明るく素直な生徒(ひとづくり) ○ 産業界から求められる技術・技能習得の意欲あふれる生徒(ものづくり)
	ありたい 教職員像	○ 目指す学校像の達成に向けて、教職員が教育活動の実践や改善のために、相互に共同し切磋琢磨する関係性(同僚性)を保ちつつ、失敗を恐れずに前向きにチャレンジし続ける教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>&lt;生徒&gt; 卒業後の進路希望は、就職が約8割、進学が約2割である。また、資格の取得や活発な部活動に期待している。</p> <p>&lt;保護者&gt; 保護者の多くは、子どもの地元企業への就職を希望している。</p> <p>&lt;地域&gt; 元気で素直な生徒の育成に期待をしており、特に地元企業からの期待が大きい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<b>連携する相手からの要望・期待</b>	<b>連携する相手への要望・期待</b>
		<p>&lt;家庭&gt; 日常の子どもの様子を知らせてほしい。</p> <p>&lt;中学校&gt; 学校の様子、卒業生の近況報告、入試状況を知らせてほしい。</p> <p>&lt;地域社会&gt; 地域の活性化のため、地域行事や防災面で施設や生徒の協力をお願いしたい。</p>	<p>&lt;家庭&gt; 本校教育方針への理解と協力をお願いしたい。</p> <p>&lt;中学校&gt; 継続的な指導が必要な個々の生徒の情報共有をお願いしたい。</p> <p>&lt;地域社会&gt; 本校の教育活動を理解し、積極的に協力して欲しい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの頃からものづくりに興味を持ってもらうため、出前授業や体験フェアを継続して実施してほしい。</li> <li>・ インターンシップ、進路体験報告会は1, 2年生にとっても参考になるので保護者にも見てもらうといいのではないかな。</li> <li>・ 地域との連携ということでも、外部講師の活用をさらに進めてはどうか。</li> </ul>	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>&lt;現状&gt; 在学中に様々な資格取得を目指し、卒業後は地元企業へ就職する生徒が多いことから、生徒・保護者・地域のニーズには合致している。</p> <p>&lt;課題&gt; 企業が求める人材は、現在より一段高いところ(異世代間でも適応できるコミュニケーション能力、基礎的な学力の確実な習得、より高度な資格取得等)にあり、そのニーズに応えていく必要がある。</p>	
	学校運営等	<p>&lt;現状&gt; 本校の教育活動を理解してもらうため、小学校へ出前授業や地域のイベント等に積極的に参加しており、地域からは一定の評価をいただいている。地域も非常に協力的である。</p> <p>&lt;課題&gt; 活発な部活動に加え、地域からの期待や要望に応えようとするあまり、土日のイベント参加も多くなり、教職員も生徒たちも疲れてきている。参加するイベントの精選・工夫や日常業務の改善による総勤務時間の縮減を積極的に行い、教職員や生徒たちの過重負担を減らしていく必要がある。</p>	

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図る。</li> <li>・基本的な生活習慣と身だしなみや挨拶などの社会常識を身につけた、明るく素直な生徒を育成する。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を高めるため、地域との連携を深める。</li> <li>・第1希望の進路の獲得を目指し、基礎学力向上に向けた取り組みの充実と表現力・コミュニケーション能力の育成に取り組む。</li> <li>・教職員間の対話の促進と、執務環境の改善や総勤務時間の縮減など職員の労働安全衛生の向上に努める。</li> </ul>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教科指導	<p><u>分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図ります。</u></p> <p><u>「高志」ある生徒が、卒業時に取得すべき資格等を明確にして、取得するための体制づくりに取り組み、成果を上げます。</u></p> <p>(1)1年生から計画的、段階的に取得技術の高度化を図るとともに、実用に即した資格取得に重点をおいた教育実践に努めます。</p> <p>(2)実習・課題研究や製図の取り組みの中で、技術技能の向上並びに表現能力に長けた生徒の育成を進めます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア)ものづくり大会への参加 ・ ものづくり東海大会への出場</p> <p>(イ)技能検定3級程度の技能練習、補習授業等の実施</p> <p>(ウ)建築設計競技会の参加</p> <p>【成果指標】</p> <p>*資格取得【別表】参照</p> <p>(3)図書館の取組として、生徒の「生きる力」を育むため、読書案内・学習活動につながる教育支援の充実に努めます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>授業やHR活動等での図書館利用の推進</p> <p>三重県学校図書館協議会司書部および南勢地区高等学校図書館連絡協議会との連携</p> <p>【成果指標】</p> <p>生徒1人当たり貸出冊数5冊以上</p> <p>高校生ビブリオバトルへの参加</p>	<p>ものづくり大会東海大会(木材加工)3位</p> <p>技能検定3級(建築大工)10名受験5名合格</p> <p>技能検定2級(建築大工)2名受験2名合格</p> <p>九州産業大学プロジェクトコンテスト アイデア部門 金賞</p> <p>日本工業大学建築設計競技 奨励賞</p> <p>愛知産業大学建築コンペティション 奨励賞</p> <p>ものづくり電気工事部門</p> <p>県大会2位(東海大会出場)</p> <p>電子機器組立て作業3級</p> <p>37名受験中34名合格</p> <p>シーケンス制御作業3級</p> <p>11名受験(結果待ち)</p> <p>1月21日現在、生徒1人当たり貸出冊数4.2冊(昨年度同時期4.3冊)で、年度末には目標を達成すると思われる。</p> <p>高校生ビブリオバトル南勢志摩地域大会に、バトラー(発表者)と聴衆各1人が参加した。</p>	

<p>生徒指導</p>	<p><u>基本的な生活習慣と身だしなみや挨拶などの社会常識を身につけた、明るく素直な生徒を育成します。</u></p> <p>(1)挨拶の励行や時間の尊重、身だしなみや礼儀作法に気を配り、ルールを遵守するなど、生活規範を身につけた生徒を育てます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 全教員による登下校校門指導と校内巡視(毎日)</p> <p>(イ) 駅前・町内巡視の実施</p> <p>(ウ) 5分前精神の徹底(時間を守る・遅刻しない)</p> <p>(エ) 授業に集中させるために入室許可証の発行実施</p> <p>(オ) 頭髪服装指導(通年)・身だしなみ講座(4月)の実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(ア) 挨拶の励行 100%</p> <p>(イ) 遅刻の回数 昨年度比 25%減</p> <p>(2)日々の授業や学校行事等、教育実践全般を通じて継続的にモラル教育を実践します。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(ア) 欠席日数の減少</p> <p>(イ) 校則違反等による特別指導件数の減少(10件以下に減)</p> <p>(3)工業高校生としての連帯感を高め、いじめのない良好な人間関係の構築に努めます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 新入生研修の実施(4月)</p> <p>(イ) 各科や各学年を通じた指導</p> <p>(ウ) 部活動での人間関係の育成</p> <p>(エ) 生徒個別面談(年間2回)や学校生活等に関するアンケート(各学期)の実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>いじめの未然防止、早期の把握・解消</p> <p>いじめの認知数ゼロ(いじめアンケートより)</p> <p>(4)学校の様子を積極的に保護者に発信し、意思疎通を図り、生徒指導の意義や目的への理解を高めます。(保護者や学校関係者以外の意見、HR活動や個別懇談の状況把握等の実施)</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 保護者会やPTA諸会合での説明</p> <p>(イ) 学年懇談会での話し合い</p> <p>(ウ) 生徒個別面談を年2回実施、学校生活等に関するアンケートを各学期に実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>保護者が学校の様子をよく理解している。</p> <p>保護者が学校に対し気軽に意見を言える。</p>	<p>1月末比較(過去5年間)</p> <p><b>頭髪指導(延べ人数・増減)</b></p> <p>H27・ H28・ H29・ H30・ R1 249・ 213・ 299・ 179・ 303 ▲15% 40% ▲40% 69%</p> <p>・生徒指導部だけではなく、学年団や科の取組みにより減少傾向にあったが、本年度は同じ生徒が何度も再指導を受けるケースがあり、全体として急増した。</p> <p>・学年別では、上級生の再指導増加が著しい。</p> <p><b>遅刻(延べ人数・増減)</b></p> <p>H27・ H28・ H29・ H30・ R1 382・ 400・ 319・ 309・ 329 5% ▲20% ▲3% 6%</p> <p>・ここ数年間登校時間厳守の意識が定着してきており、遅刻数は減少傾向にあったが、本年度は微増の状況である。</p> <p>・1・2学年は昨年と比べ激減した。</p> <p>・6・11・2月の遅刻防止月間をH26より導入し、成果がでていたので、今後も続けていきたい。</p> <p><b>特別指導の延べ人数・増減)</b></p> <p>・SNSによるトラブル・迷惑行為が大半を占め、中にはいじめと認定した事案もあった。SNSの正しい利用法に関する講演や全校集会等を開き、生徒の規範意識を高めるよう努め改善が見られた。</p>
-------------	---	---

<p>進路指導</p>	<p><u>希望の進路に内定できてこそ、活気ある工業高校が実現できます。基礎学力向上に向けた取り組みの充実と、面接が「自分の人となりの魅力を伝える」場となるよう表現力・コミュニケーション能力の育成に取り組みます。</u></p> <p>(1)キャリア教育を推進して、生徒・保護者の希望に合った進路実現をめざします。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 県内外への企業訪問の拡充</p> <p>(イ) キャリア教育の推進による生徒の主体的な進路選択・進路決定</p> <p>(ウ) 全職員及び外部講師による「面接指導」の実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(ア) 求人企業数・求人数の向上、一次合格率、就職 90%以上・進学 95%</p> <p>(イ) インターンシップの実施</p>	<p>5月から6月にかけて、企業訪問を行った。</p> <p>今年度の本校への求人倍率は7.08倍と昨年の6.01倍を大きく上回った。</p> <p>職業興味テストを新たに取り入れ、生徒・保護者の希望にあった進路実現を目指した結果、昨年に続き就職希望者・進学希望者ともに100%合格を達成した。</p> <p>就職希望者の1次合格率は94%・進学希望者の1次合格率は97%であり指標を達成した。</p> <p>2年生のインターンシップは昨年度より1クラス減っているにもかかわらず、昨年同様18社へ42名の生徒が参加をした。</p>
<p>改善課題</p>		
<p>○資格取得についてはジュニアマイスターを取得する数など昨年より若干減ったが、技能検定については合格者が増加した。今後も学校全体の取組として実施していくことが必要である。</p> <p>○主にSNS上のトラブルによる指導件数が大きく増加した。さらに指導を強化していく必要がある。</p> <p>○就職希望者・進学希望者ともに100%合格を達成した。特に就職については求人数が昨年度より増加したこともあって、一次試験での合格者が94%（昨年度92%）と好調であったが、引き続き基礎学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上に取り組む必要がある。</p>		

【別表】( ) は実績

資格取得 合格者数の 目標値	資格、検定	機械科	電気科	建築科
	危険物取扱者丙種	1年生 80人 (受験なし)		
	危険物乙種 4類	全学年 149人 (25)	全学年 40人(26)	
	ガス溶接技能講習	2年生 79人 (79)		
	基礎製図検定	2年生79人 (45)		
	機械製図検定	3年生79人 (42)		
	技能検定 (機械保全) 3級	9人 (6)		
	技能検定 (機械検査) 3級	16人 (10)		
	小規模ボイラー講習	67人 (67)		
	ボイラー技士 2級	5人 (受験なし)		
	電気工事士 2種		2・3年生 40人(29)	
	電気工事士 1種		2・3年生 10人(2)	
	電気主任技術者 3種		3年生 1人(0)	
	第二級陸上特殊無線技士		2・3年生 10人(結果待ち)	
	第二級海上特殊無線技士		2・3年生 10人(結果待ち)	
	福祉住環境コーディネータ 3級			5人(3)
	2級建築施工管理技術検定試験			3人(4)
	カラーコーディネータ 3級			2級 0人(2) 3級 5人(8)
	建築 CAD 検定 3～4級			3級 0人(33) 4級 40人(39)
	レタリング検定 3、4級			3級/0人(7) 4級 40人(39)
建設業経理事務士 3、4級			3級 0人(36) 4級 40人(61)	
技能検定 (建築大工) 2、3級			3級 5人(9)	

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p><u>教職員間の対話の促進と、執務環境の改善や総勤務時間の縮減など職員の労働安全衛生の向上に努めます。</u></p> <p>(1)組織の在り方や業務内容の見直し、過重労働の削減などにつながる快適な職場作りに取り組みます。</p> <p><b>【活動指標】</b>(( )内は平成 30 年度の実績)</p> <p>(ア) 定時退校日を 1 日実施し、設定した日の定時に退校できなかった教職員数 20 人以内を目指す。(28 人)</p> <p>(イ) 部活動休養日を週 1 回設定し、予定通り休養日を設定した部活動の割合 100%を目指す。(94.9%)</p> <p>(ウ) 放課後に開催され、60 分以内に終了する会議の割合 100%を目指す。(97.7%)</p> <p><b>【成果指標】</b>(( )内は平成 30 年度の実績 )</p> <p>(ア) 月 80 時間を超える時間外労働者の年間延べ人数を 50%削減(37 人/年)</p> <p>(イ) 時間外労働を月 2 時間削減(22.8 時間/月)</p> <p>(ウ) 休暇取得を年 0.5 日増加(19.3 日/年)</p> <p>(2) 各科横断のオフサイトミーティングを実施し、風通しの良い職場を創ります。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>定期考査の午後(7 月初旬or12 月初旬、必要に応じて随時)などを利用し実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>職場の各所で将来の本校の在り方が語られる環境ができています。</p> <p>(3)全体でのコンプライアンス研修に加え、各科でのコンプライアンス研修を実施します。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>全体でのコンプライアンスミーティングを年に 1 度(5 月)実施、その他に各科でのコンプライアンスミーティングを年に 1 度(随時)実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>職員一人ひとりのコンプライアンス意識が高まっている。</p>	<p>(1)</p> <p>(ア) 定時退校日に退校できなかった教職員数</p> <p>4 月 4 人、5 月 4 人</p> <p>6 月 4 人、7 月 3 人</p> <p>8 月 1 人、9 月 8 人</p> <p>10 月 3 人、11 月 5 人</p> <p>12 月 2 人、1 月 1 人</p> <p>計 延べ 35 人</p> <p>(イ) 各部において週に 1 日以上休養日を設定できなかった部活動の延べ数</p> <p>4 月(4 週)2 5 月(5 週)7</p> <p>6 月(4 週)3 7 月(4 週)1</p> <p>8 月(5 週)6 9 月(4 週)0</p> <p>10 月(4 週)1 11 月(5 週)5</p> <p>12 月(4 週)2 1 月(4 週)2</p> <p>計 延べ 29</p> <p>予定通り休養日を設定した部活動の割合 96.5%</p> <p>(ウ) 60 分以内に終了できなかった会議数 1 (4 月～1 月)</p> <p>60 分以内に終了した会議の割合 97.1%</p> <p>(エ) (12 月末現在)</p> <p>時間外 19.4 時間(目標 22 時間)</p> <p>休暇取得 16.7 日(目標 21 日)</p> <p>長時間労働 人(目標 50 人)</p> <p>(3)コンプライアンスミーティング 1 回実施(12 月)</p> <p>職員会議のたびに資料にコンプライアンスコラムを掲載して、意識の醸成を図った。</p>	

地域との連携	<p>南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を高めるため、地域との連携を深めます。</p> <p>(1)地域関係者との連携強化に向けて、各種行事やイベントに積極的に取り組みます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア) 小学校への出前授業の実施</p> <p>(イ) 工業高校生フェアの開催</p> <p>(ウ) 中学校教員等対象説明会の開催</p> <p>【成果指標】</p> <p>地域関係者との連携強化が進んでいる。</p> <p>(2)地元企業との連携強化に向けて、双方向からの情報発信・相互理解を深めるための行事を実施します。</p> <p>【活動指標】</p> <p>地元企業の高校内企業説明会の実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>企業、生徒双方の満足度 90%以上(満足度アンケートより)</p>	<p>(1)</p> <p>(ア)小学校への出前授業 1校実施 本校への見学1校</p> <p>(イ)開催予定の工業高校生フェアは雨天の為中止。急遽、伊勢工業高校作品展を臨時開催。午前中のみであったが74名の一般見学者があった。</p> <p>(ウ)中学校教員対象説明会1回 学習塾対象説明会1回実施</p> <p>(2)地元企業の高校内説明会を年2回実施(12月、3月予定)</p>	
--------	--	--	--

### 改善課題

- 会議時間の縮減、定時退校日・部活動休養日の徹底については昨年度と大きく変わらないが、平均時間外労働時間は縮減している。部活動休養日の徹底や短時間で効率的な部活動の指導方法の研究などをしていく必要がある。
- 地元企業との連携をさらに進めるなど、地域唯一の工業高校としての存在感を高める必要がある。

## 5 学校関係者評価

明らかにした改善課題と次への取組方向	<p>地域との連携に関して学校の活動(事項)の洗い出しをして、教員(学校)にしかできないことと学外(サポーター)の協力を得てできることの選別を行い、積極的に地元企業をはじめとする外部の力を活用してはどうか。</p> <p>働き方改革の面からも学校や教員にできることがどんどん制限されてくる中で、部活動の外部指導者導入など、いろんな面で自前主義からの脱却を考える時期である。</p>
--------------------	--

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得への取組は技能検定を含め実績を上げてきているが、次年度も学校全体の取組として実施していく。</li> <li>・進路、特に就職については好調であったが、求人の多さに甘えることなく、引き続き基礎学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上に向けた具体的な取組をさらに進めていく。</li> </ul>
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総勤務時間の縮減に向けて、常に進捗状況を意識しながらさらに定時退校、休日取得、部活動休養日設定の取組を徹底していく。</li> <li>・地元企業の協力を得た説明会や工場見学などで進展があったが、次年度も地元企業との連携の強化に努めていく。</li> </ul>